

ジオパーク・ワンポイント講座⑥



ジオサイトってなに？

日本のジオパークでは、“ジオパークの見どころ”という意味で、

地形や地質はもちろん、植物が生育している場所も、歴史的な建物も、資料館も

全部「ジオサイト」という言葉を使ってきました。

ところがこれは本来の意味とは違います。

「ジオサイト」は“地球の活動がわかる地質や地形がある場所”であり、それ以上でも以下でもありません。

地質や地形は「ジオサイト」、生態系は「生態サイト」、文化は「文化サイト」、景色を見る場所は「ビューポイント」、

そして施設は施設です。

その方がわかりやすいですね。

萩ジオパーク構想でも、住民の皆さんとの活動のしやすさを考慮しながら、見直しや整理を進めています。

(ジオパーク専門員：白井孝明)